

平成25年度（2）年生（社会）科シラバス

教科の目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

月	単元・項目	時数	つけてほしい力	学習のアドバイス	評価方法
4	2節 世界から見た日本の人口	5	・世界的視野から日本の人口と人口密度・少子高齢化問題を理解する。 ・世界の人口分布、人口の増加の地域的なたよりを原因や背景を理解するとともに日本の人口分布から過疎・過密の問題を理解する。	・人口ピラミッドや分布図を活用し、読み取りや作成をしよう。 ・世界や日本の資源・エネルギー問題について環境問題と関連づけて考えよう。 ・日本の環境問題への対策としての再生エネルギーの利用やリサイクルへの取り組み、省エネ対策の技術開発を理解しよう。	定期テスト 単元テスト ノート 提出物
5	3節 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業	5	・世界的視野から日本の資源・エネルギー消費の現状を理解する。 ・鉱産資源の産出量やエネルギーの消費量とエネルギーの消費量を理解する。 ・食糧自給率に関する問題、エネルギー・資源問題、環境問題について考える。		
	4節 世界と日本の結びつき	3	・世界的視野から日本と世界の交通・通信網の発達の様子や物流を理解する。 ・グローバル化の進展にともない、日本の貿易品目や相手国が変化していることに気づく。		
9	4章 近世の日本	6	・ヨーロッパ人の来航の背景と鉄砲とキリスト教の伝来が日本に与えた影響に気づく。 ・織田信長と豊臣秀吉による統一事業を理解する。 ・桃山文化の特色を理解する。	・ヨーロッパ文化の伝来が日本の社会に及ぼした影響をキリスト教や鉄砲の伝来、南蛮貿易と関連させて、理解しよう。	
10	1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一				
	2節 江戸幕府の成立と鎖国	5	・江戸幕府の成立の経緯と政治制度のあらまし、幕府による大名や朝廷の統制政策を理解する。 ・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策、身分制度を理解し、その知識を身に付けている。	・260年余りも続く平和な時代がどのようにして生まれたのかに関心を持ち、幕藩体制について一つ一つを整理してまとめよう。	
	3節 産業の発達と幕府政治の動き	7	・農業をはじめとする諸産業の発達の様子を理解し、それらが発達した理由を考えることができる。 ・商品流通の発展が、貨幣経済をもたらしたことを理解する。 ・町人文化や地方の生活文化に関心を持ち、このような文化が広がった背景を理解する。 ・幕府による代表的な政治改革を取り上げ、おもな内容を理解する。	・江戸時代のそれぞれの政治改革について表にまとめて整理してみよう。 ・政治改革と政治の行き詰まりを、社会の変動を背景に考えてみよう。 ・新しい学問の発達により、今後の時代がどのように変化していくか予想しよう。	
11	第2編 3章 日本の諸地域 1節 九州地方	5	・九州地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえることができる。 ・環境問題や環境保全を、産業や地域開発の動向、人々の生活などと関連付けて理解することができる。	・日本の諸地域の自然環境や人口、産業などの特色などについて、基礎的・基本的な知識を身に付け、白地図等でまとめてみよう。 ・収集した資料から、日本の諸地域の地的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめてみよう。	
	2節 中国・四国地方	5	・中国・四国地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえることができる。 ・過疎・過密地域の抱える問題を具体的にとらえ、その解決が課題になっていることを理解することができる。	・それぞれの追究テーマをもとに、日本の諸地域の地的特色や地域の課題を理解し、まとめてみよう。 ・日本の諸地域の地的特色を、ある地理的事象を中核として、他の地理的事象と関連付けるなど多面的・多角的に考察しよう。	
12	3節 近畿地方	5	・近畿地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえることができる。 ・様々な都市の特色について、その歴史的背景の違いに着目して考え、理解することができる。		
1	4節 中部地方	5	・中部地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえることができる。 ・中部地方の地的特色を、産業を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。		
	5節 関東地方	5	・関東地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえることができる。 ・関東地方の変容を、東京を中心とした市街地の拡大、他地域との結び付きの深まりに着目して考え、理解することができる。		
	6節 東北地方	5	・東北地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえることができる。 ・東北地方の生活・文化の変容を、交通の発達や国際化など他地域との結び付きに着目して理解することができる。		
2	7節 北海道地方	5	・北海道地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかにとらえることができる。 ・北海道地方の自然環境に対する人々の取り組みや防災対策についてとらえ、自然環境と人間の関係のあり方を考察し、まとめることができる。		
	8節 日本をながめて	1	・これまで学習してきた七つの地方、七つの視点を関連付けながら、日本全体の地的特色を多面的・多角的に考察することを通して、地理的な見方や考え方を身に付ける。	第2編第2章「世界から見た日本のすがた」で学習した内容や、第2編第3章「日本の諸地域」で学習した内容を基に、広い視野から日本全体の地的特色を考えよう。	
	第4章 身近な地域の調査	7	・市町村規模の地的特色をとらえる視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を身に付けることができる。	・身近な地域における諸事象を取り上げ、観察や調査などを行い、自分たちが生活する地域に対する理解を深める。	
3	5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米の進出と日本の開国	6	・欧米諸国のアジア進出を理解する。 ・開国が、江戸幕府の崩壊へとつながったことが理解できる。 ・開国から江戸幕府滅亡までの過程を理解する。 ・開国の影響をまとめることができる。 ・資本主義の発達が、ヨーロッパのアジア進出へつながっていることを理解できる。	・開国と攘夷の意見の相違について、代表的な人物の立場からそれぞれ考えてみよう。 ・開国にいたった流れと開国の影響をまとめてみよう。	
	2節 明治維新	7	・明治新政府の諸改革の特色をまとめることができる。 ・明治維新によって人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・立憲制国家が成立して日本の国際的地位が向上したことを理解する。	・五箇条の御誓文などの資料を読み、その内容をつかみとる。 ・新政府が近代国家をつくるために行った改革を整理しよう。	
	3節 日清・日露戦争と近代産業	8	・江戸幕府の末期に結ばれた不平等条約の改定に向けて、欧米の制度を多く取り入れようとした点と、日本が列強の仲間入りするためにどのような経過をたどったかをまとめる。	・不平士族の反乱と、自由民権運動がわきあがった理由を理解する。 ・日清・日露戦争についてまとめることができる。（どのようにしておこったか。どのような結果をもたらしたか。）	